

令和元年度 9 月定例記者会見 次第

日時：9 月 25 日（水）15 時 00 分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕市長、副市長、教育長
関係部課（健康増進部）介護・高齢者支援課
（産業振興部）農林水産課、（教育部）文化課

1 市長あいさつ

2 10 月のイベント イベント情報

3 案件

（1）おてがる！フレイルチェックシート（通称「おてフレ」）完成！

（介護・高齢者支援課） 資料 1

（2）カキ小屋常設施設（岐志漁港）事業の竣工について

（農林水産課） 資料 2

（3）伊都国歴史博物館秋季特別展「玄界灘の交易要衝『一支国』」展の開催
について

（文化課） 資料 3

4 市長短信 短信資料

5 懇談・その他

次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：10 月 25 日（金）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

**【身体的フレイル簡易チェックシート】
おてがる！フレイルチェックシート(通称「おてフレ」)完成！
「おてフレ」を活用した事業を10月から開始します**

平成29年度より糸島市と九州大学はフレイル予防に関する共同研究を進めており、市はその研究成果を生かしたフレイル予防事業の構築を進めています。また、平成31年4月、糸島市・九州大学・住友理工は、第2期連携協定を締結し、産学官連携によってさらなる事業の発展を目指しています。

このたび研究の成果として、妥当性・信頼性の高い【身体的フレイル簡易チェックシート】おてがる！フレイルチェックシート、通称「おてフレ」を作成しました。

国は、令和6年度以降、全国でフレイル予防事業を展開する予定としていますが、糸島市は「おてフレ」を活用し、全国に先駆けて、令和元年10月から事業を開始します。

**【身体的フレイル簡易チェックシート】
おてがる！フレイルチェックシート 通称「おてフレ」**

フレイルは将来の認知機能の低下、要介護状態となるリスク因子であることから、簡易にチェックすることができる方法の開発が課題となっていました。

今回開発した「おてフレ」は、糸島市民を対象とした研究によって、良好な信頼性（再現性）と診断精度があることが示され、僅か6項目の質問項目から簡易に身体的フレイル評価ができます。（詳細は別紙 参照）

「おてフレ」は、今後フレイルの早期発見や予防事業参加者の効果判定等、フレイル予防事業で広く活用できる画期的なものです。

「おてフレ」を活用したフレイル予防事業開始（健康づくり課）

フレイル予防事業は、プレフレイル・フレイル状態にある高齢者を早期発見し、早期に必要な医療や介護につなぐことで、フレイルの進行や疾病の重症化を防ぐことを目的としています。

糸島市が行うフレイル予防事業では、保健師等が高齢者の集いの場に出向き、また個別の家庭訪問等に、「おてフレ」を活用し、プレフレイル・フレイルを判定、保健指導を行い、対象者にとって必要な事業や医療へつなぎます。

この事業は、全国に先駆けて国が目指すフレイル予防の取り組みを事業化するものです。

事業スキーム 別紙 参照

初回実施日：令和元年10月9日（水）14時30分～15時30分

実施場所：糸島市前原公民館（糸島市前原東2丁目2-5）

対象者：前原校区シニアクラブ

取材にお越しいただく場合は、事前に下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

糸島市 健康増進部 介護・高齢者支援課（担当：木村・島田）
（直通）092-332-2070（内線1561）
健康づくり課（担当：小金丸）
（直通）092-332-2069（内線1534）

やってみよう!

おてがる!フレイルチェックシート おてフレ

氏名		年齢	歳	記入日	年	月	日
----	--	----	---	-----	---	---	---

太枠の回答欄の「はい」「いいえ」どちらかに をつけてください。

項目	内容	回答
疲労感 Fatigue 	1 気分が落ち込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか?	どちらか1つにあてはまる場合も「はい」に 1. はい 0. いいえ
	2 何をするにも骨折りだと感じましたか?	
筋力 Resistance 	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか?	0. はい 1. いいえ
有酸素能力 Aerobic / Ambulation 	1 km ぐらいの距離を続けて歩くことができますか?	0. はい 1. いいえ
活動量低下 Inactivity 	1日のうち、座っている又は横になっている時間は、起きている時間の80%以上ですか?	1. はい 0. いいえ
体重減少 Loss of weight 	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか?	1. はい 0. いいえ
合計		点



判定結果	0点	ノンフレイル 今のところ問題ありません。
	1～2点	プレフレイル 要注意! 予防に取り組みましょう。
	3点以上	フレイル 保健師等に相談してください。

Chen Si et al., JAMDA, 2019 (印刷中)

国立大学法人九州大学キャンパスライフ・健康支援センター

本紙の内容に関して無断での転載・引用は固くお断りいたします。



おてがる!フレイルチェックシート おてフレ



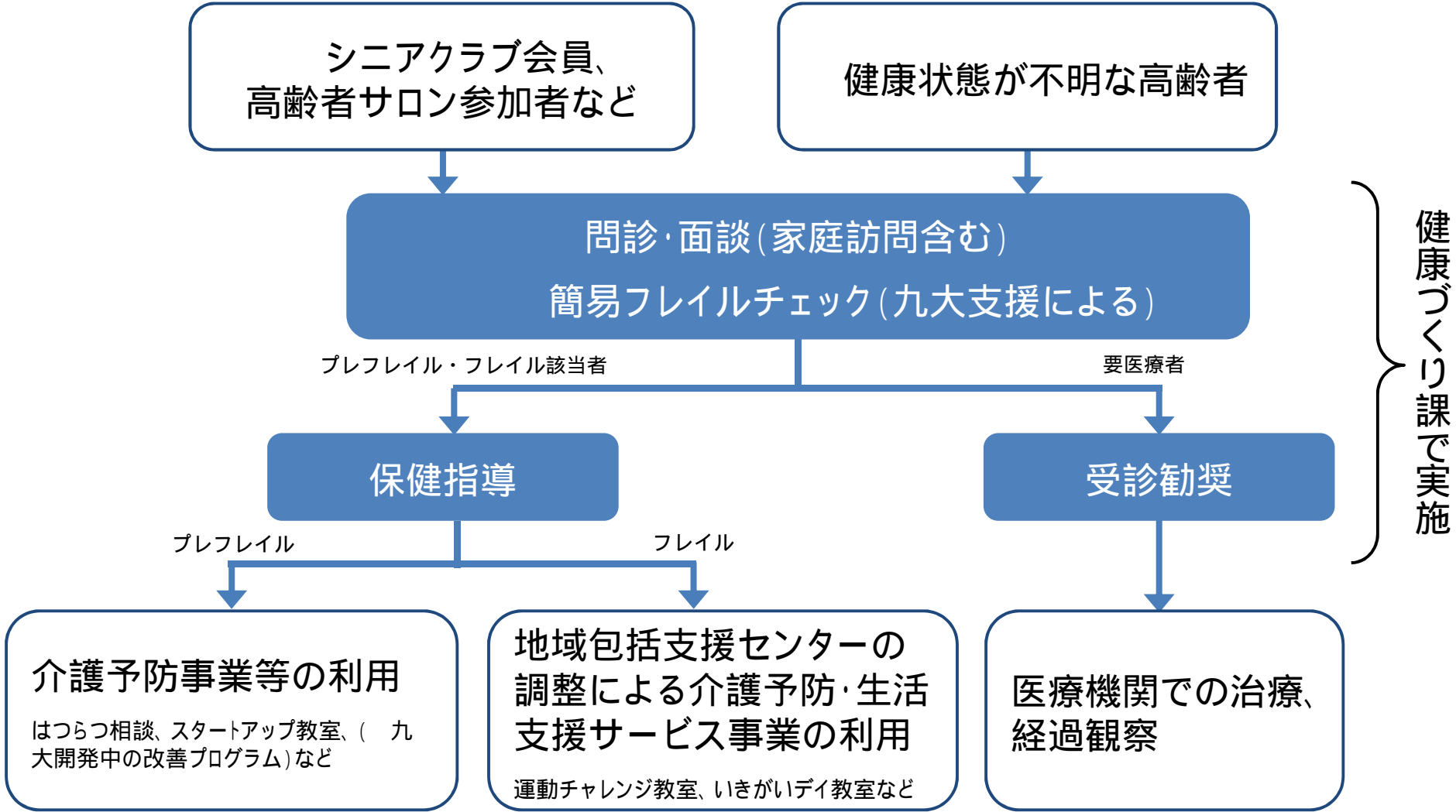
項目	内容
疲労感 Fatigue 	こころやからだの「疲れぐあい」をチェックしています。 ふだんでは感じないような「こころの落ち込み」や「面倒だ」と思う気持ちが続くと、うつ状態を引き起こしやすくなります。 この項目を「はい」と回答した方は、こころやからだがりラックスできること(趣味活動やストレッチ体操など)を始めてみましょう。
筋力 Resistance 	運動の機能性をチェックしています。 時々、用心のために手すり等を使用する程度の場合は「はい」、手すり等を使わずに昇る能力があっても、習慣的に手すり等を使っている場合は「いいえ」とします。 この項目を「いいえ」と回答した方は、筋力が低下している可能性があります。スクワットなどの運動を始めてみましょう。
有酸素能力 Aerobic / Ambulation 	長い距離を歩けるくらいの持久力があるかどうかをチェックしています。屋外、屋内等の場所は問いません。 この項目を「いいえ」と回答した方は、持久力が低下している可能性があります。ウォーキングなどの運動を始めてみましょう。
活動量低下 Inactivity 	活動的な生活を過ごしているかどうかをチェックしています。屋外・屋内等の場所は問いません。「1日の起きている時間のうち、私はほとんど座っているか横になっている」とご自身が感じる場合には「はい」とします。 この項目を「はい」と回答した方は、身体活動量が低下しています。友人との交流や趣味活動など、楽しみながら活動できることに取り組んでみましょう。
体重減少 Loss of weight 	ご自身が意図しない体重の減少であるか否かをチェックしています。筋力トレーニング等の運動をしない急な体重減少は、筋肉量が減っていることがあります。また、低栄養状態につながりやすくなります。ダイエットなど意識して体重を減らした場合や6ヶ月以上かけて体重が減少している場合は「いいえ」とします。 この項目を「はい」と回答した方は、体重減少の原因を明らかにする必要があります。まずは、身近なかかりつけ医や保健師等の専門職に相談しましょう。

今回は問題がなかった方も、フレイルチェックを定期的に行い、フレイルの早期発見に努めましょう



糸島市フレイル対策等推進事業(保健・介護一体的実施)の概要

九州大学との共同研究で開発された簡易フレイルチェックの手法を用いて、プレフレイル・フレイル状態にある高齢者を早期発見し、早期に必要な医療や介護につなぐことで、フレイルの進行や疾病の重症化を防ぐ。



カキ小屋常設施設(岐志漁港)事業の竣工について

糸島での「カキ小屋」は、漁港に生産者自らが仮設建築物を設置し、焼きガキを提供したことに始まりました。これにより、漁港が地域の観光資源に変わり、今では福岡都市圏を中心に、53万人を超えるみなさんにご来場いただけるようになりました。

今後も「カキ小屋」が糸島の観光産業並びに冬場の水産業を支える核として持続・発展するためには、観光施設として集客能力や快適性の向上、食品衛生管理、廃水処理などへの対応が必要となります。

そこで、糸島漁業協同組合が主体となり、岐志漁港「カキ小屋」の常設化事業に着手し、このたび9棟のカキ小屋常設施設の竣工を迎えることができました。

つきましては、下記のとおり竣工式を開催しますことをお知らせします。

記

- 1 竣工式 令和元年10月25日(金) 10時開始
※試食会も実施します。
- 2 カキ小屋営業開始 令和元年10月26日(土)
※その他の漁港では、10月19日から順次開始予定

3 事業の概要

- (1) 事業主体 糸島漁業協同組合
- (2) 施設
 - ・名称 カキ小屋：9棟
 - ・構造 鉄骨造 平屋建て
 - ・面積 約196㎡/棟
 - ・客席数 約150席
 - ・トイレ 小便器：1基、洋式便器：3基
 - ・関連設備 浄化槽(400人槽：1基)

【岐志漁港でのカキ小屋】

岐志漁港の養殖業は、昭和50年代はタイ養殖が盛んでしたが、現在はカキ養殖が主流となっています。

吾智網漁業の漁閑期に営業しているカキ小屋は、約200人の雇用を創出するとともに、来訪者が年間約15万人と盛況で、漁業者の所得の向上はもちろんのこと、新規就業者の定着率向上や効率的な水産物の販売拡大にもつながり、地域水産業の振興に大きな影響を与えています。

【問い合わせ】

産業振興部 農林水産課 水産振興係 担当：山崎・深海
TEL：092-332-2088(直通)
メール：norinsuisan@city.itoshima.lg.jp



令和元年度 伊都国歴史博物館秋季特別展
「玄界灘の交易要衝『一支国』」展の開催について

令和元年度の伊都国歴史博物館秋季特別展として、下記のとおり「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズⅡ「玄界灘の交易要衝『一支国』」展を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 名称 伊都国歴史博物館開館 15 周年記念事業
令和元年度伊都国歴史博物館秋季特別展
伊都国から倭人伝の国々を探る シリーズⅡ

玄界灘の交易要衝『一支国』

2. 主催 糸島市立伊都国歴史博物館、糸島市教育委員会
3. 協力 杵岐市教育委員会、長崎県教育委員会、九州大学
4. 会場 糸島市立伊都国歴史博物館 1 階企画展示室
5. 会期 令和元年 10 月 5 日（土）～11 月 24 日（日）
6. 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は 16 時 30 分まで）
7. 休館日 月曜休館 ただし 10 月 14 日（月・祝日）は開館、翌 15 日（火）が休館
11 月 4 日（月・休日）は開館、翌 5 日（火）が休館
8. 料金 大人 400 円（団体 300 円） 小・中・高校生 200 円（団体 150 円）
※団体割引の適用は 20 名以上、障がい者及び付き添い人は無料

9. 開催趣旨

令和元年度の秋季特別展として、長崎県「杵岐」の弥生・古墳時代の歴史・文化をテーマとした展示会を開催します。本展は、昨年度より行っています「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズの第 2 弾となります。

玄界灘に浮かぶ杵岐島は、『魏志倭人伝』に記された「一支国」の比定地として知られ、太古より北部九州（倭）と朝鮮半島（韓）や中国大陸との対外交流の拠点として重要な役割を担ってきました。

「一支国」の国邑である「原の辻遺跡」は、交易の中心地にふさわしい巨大環濠集落。そこから出土する土器や青銅器には、倭と韓双方のものがみられ、また漁撈具や農具、祭祀具などは、当時の一支国の人々のくらしぶりを彷彿とさせます。

また、弥生時代後半期に入ると、「伊都国」の祭祀用土器や甕棺が「一支国」で見られるようになるこ

とから、両国が主導する倭の対外交渉体制が確立し、強いつながりがあったことがわかっています。

本展は、「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズの第2弾。150点を超える重要文化財をはじめとする吉岐の至宝の数々が糸島に集結します。

10. 主な展示品

原の辻遺跡出土人面石（重要文化財）

原の辻遺跡出土貨泉、車馬具、権（重要文化財）

原の辻遺跡出土椰子笛（重要文化財）

カラカミ遺跡出土ト骨

車出遺跡群出土石製支脚

笹塚古墳出土品（重要文化財）

双六古墳出土品（重要文化財）

など多数。

国重要文化財 154点を含む総数 250点余りの展示品を予定

11. 関連事業

特別講演会

開催期間中、有名な講師をお招きして展示会のテーマに関連した特別講演会を3回開催いたします。

特別講演会① 10月13日(日)14:00～

演題:「『魏志倭人伝』に記された一支国の世界」

講師:松見裕二氏(吉岐市教育委員会社会教育課文化財班 係長)

特別講演会② 10月27日(日)14:00～

演題:「『魏志倭人伝』に記された『南北市糴』の具体像」

講師:古澤義久氏(長崎県埋蔵文化財センター東アジア考古学研究室 主任文化財保護主事)

特別講演会③ 11月16日(土)14:00～

演題:吉岐古墳群からみた6～7世紀の北部九州と東アジア

講師:辻田淳一郎(九州大学人文科学研究院 准教授)

【問い合わせ先】

糸島市立伊都国歴史博物館(教育部 文化課 博物館係) 担当:江崎

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地 TEL:092-323-7083 FAX:092-321-9155

Eメール:esaki.y.725@city.itoshima.lg.jp

令和元年度

伊都国歴史博物館秋季特別展「伊都国から倭人伝の国々を探る」シリーズⅡ

玄界灘の交易要衝「一支国」 展示概要

会期: 令和元年10月5日(土)～11月24日(日)

月曜休館 ただし10月14日(月・祝日)は開館、翌15日(火)が休館

11月4日(月・休日)は開館、翌5日(火)が休館

料金: 大人400円(団体300円)小・中・高校生200円(団体150円)

※団体割引の適用は20名以上、障がい者及び付き添い人は無料

会場: 伊都国歴史博物館1階展示室(福岡県糸島市井原916番地)

第Ⅰ章

一支国の誕生と人々の暮らし

一支国の都である原の辻遺跡は、弥生時代前期末に突如として誕生し、一支国の交流拠点として約600年間栄えました。

当時の壱岐島の人々は、農業と漁業を中心に生活しており、このほかに、交易の仲介役として活躍していました。

出土品としては、あわびおこしやモリ等の漁撈具や石包丁、石鎌などの農工具有り。



復元された原の辻遺跡のようす



原の辻遺跡から出土した漁撈具(国重文)

第Ⅱ章

倭人伝の時代の一支国と伊都国

弥生時代、交流の拠点として繁栄した「一支国」と北部九州の政治的な中心地として繁栄した「伊都国」。

この両国が主導した貿易体制により、様々な文物が北部九州にもたらされました。

そのなかには、「一支国」ならではの遺物や「伊都国」独自の遺物が含まれています。

「一支国」と「伊都国」で出土する弥生時代の遺物を比較することで、両国がもつ特質を明らかにしていきます。



原の辻遺跡でよく出土する銅鏃(国重文)



原の辻遺跡で出土する中国貨幣(国重文)



原の辻遺跡で出土した楽浪郡の土器(国重文)

第Ⅲ章 一支国を支えた衛生集落の展開

壱岐では、原の辻遺跡が「一支国」の都として栄えたころ、別の集落が存在していました。

それは、カラカミ遺跡と車出遺跡群の集落の人々です。

これらの遺跡からは、原の辻遺跡とは異なる出土品がみられることから、第2、第3の勢力と考えられます。

本章では、これら勢力の様相についてみていきます。



車出遺跡群で出土する丁寧に作られた石製支脚



カラカミ遺跡で多く出土するト骨

第IV章

壱岐島の首長墓-巨石古墳の時代-

古墳時代後期の6世紀～7世紀にかけて、壱岐島では、巨石を用いた古墳が、突如として6基築かれます。

そのような巨石古墳を築くには、豊富な人材や富が必要となります。

壱岐には、そのような力がないため、中央政権の力添えがあったものとみられます。

これら黄金に輝いた古墳の出土品は、みる者を魅了します。



双六古墳出土品(国重文)



笹塚古墳出土品(国重文)